

離島児童生徒が沖縄県代表として県外へ派遣される際の 派遣費用負担軽減を求める要請決議

沖縄本島から400キロ以上も離れた石垣市及び八重山圏域において、沖縄本島や本土へ移動する公共交通手段は航空路線が主であり、離島の児童生徒は、沖縄本島で開催される県大会に出場する際、旅費や宿泊費など多額の出費を強いられます。

本市では、多くの児童生徒が部活動に取り組んでおり、年に何度も県大会に出場しております。しかし、野球やサッカーなどトーナメント形式の大会では、勝ち上がるたびに毎週、沖縄本島での試合へ参戦しなければならず、強くなればなるほど、保護者らの経済的負担は大きくなっております。また、郷土芸能部やマーチング部など文科系の部活動においては、楽器の運搬費に多額の費用を要し、その全額を保護者が負担している厳しい状況にあります。

このような経済的・地理的な離島のハンディを乗り越えて、県大会で頂点を勝ち取り、沖縄県の代表として九州大会や全国大会などへ出場となっても、さらに本土への派遣費を考えた場合、保護者らは手放して喜べないというのが現状です。

これは離島ゆえのハンディであり、保護者の経済的な理由によって、離島の児童生徒の経験の場を奪うことがないように、沖縄県代表として出場する際にかかる派遣費については、国及び県が責任をもって派遣費の負担軽減を図る必要があると考えます。

よって本市議会は、離島格差の是正を訴え、離島の児童生徒が沖縄県代表として県外へ派遣される際の派遣費用の負担軽減を強く要請いたします。

平成30年10月17日

石垣市議会

宛先

沖縄及び北方対策担当大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生規制改革）、沖縄県知事、
沖縄県議会議長、地元選出県議会議員